

島本町立歴史文化資料館 館報第5号



平成 25 年 9 月

島本町立歴史文化資料館





## はじめに

平成 20 年 4 月 12 日、オープンいたしました当館は、皆様のご支援とご協力を賜り、本年、無事 5 周年を迎えることができました。

昭和 16 年、有志の方々のご尽力で桜井駅跡記念館「麗天館」として開館しました建物は、当時の趣をそのままに、空の青、駅跡の緑とほどよく調和をし、凜とした風格で来館される方々を、今日も温かく迎え入れてくれます。

5 月 18 日(土)には、開館 5 周年記念講演会として、関西大学文学部教授 藪田 貫氏に「史蹟 桜井驛跡物語～むかしといま～」の演題でご講演頂きました。駅跡についての脈々と流れる人々の思いや、時を超えても普遍であるべき姿について、史実や事例を基にわかりやすくお話をして頂きました。ありがとうございました。

平成 24 年度は、企画展 7 回、講演会 2 回、資料館コンサート 7 回等を計画通り実施することができました。また、発掘調査におきましては、縄文時代の新たな集積跡や、島本町では初めてとなる平安時代の遺構の発見もありました。現地説明会には町外・他府県からも多数関心を寄せて頂きました。

平成 25 年度も資料館の役割であります、収集・保存（調査研究）・展示の継続と、双方向に開かれた運営を行っていく所存でございます。

いつも温かく見守ってくださる、皆様に感謝をするとともに、今後のさらなるご支援、ご協力を賜ることを願ってやみません。

平成 25 年 9 月

島本町立歴史文化資料館  
館長 北野 弘範

## 目 次

はじめに	1
講演会	
「柏木宏之の世界一桜井駅跡『正成・正行親子の別れ』朗読会」 講師 柏木 宏之 氏	3
「近世の離宮八幡としまもと一社家文書を通して」 講師 山中 浩之 氏	5
展示	
常設展 「ひと・もの・みち」	7
町指定文化財「勝幡寺 薬師如来立像」速報展	8
広瀬遺跡発掘調査速報展	8
秋の企画展「近世の離宮八幡としまもと一社家文書を通して」	9
島本の神事 「山崎地区：椎尾神社」	9
秋の展示 「水無瀬駒 関連資料」	10
新春企画展 「しまもとの郷土かるた」原画展	11
民具・農具展「むかしのくらしと農家のしごと」	11
体験学習 「土器洗いをしてみよう！！」	12
資料館ボランティアの活動報告	12
事業報告	
企画展・催物一覧	13
公募による催物一覧	13
入館団体	14
日誌抄録	14
利用状況	15
寄贈・寄託	15
受入れ図書	16
町指定文化財一覧	18



## 講演会

「柏木宏之の世界—桜井駅跡

『正成・正行親子の別れ』朗読会」

平成 24 年 5 月 12 日（土）

毎日放送アナウンサー 柏木 宏之 氏



さあ、時でございます。時代は鎌倉幕府、執権の北条高時の頃でございます。この高時が闘犬が大好きで、お酒が大好きで、遊んでばかりでありました。しかし、朝廷の天皇の位は、大覚寺統と持明院統という両統迭立時代でございます。鎌倉幕府が 10 年ごとに順番にやれと決めるんですね。ところが、30 過ぎてやっと天皇になった後醍醐天皇は、何でそんなこと聞かなあかんねや、天皇って言うのは一番えらいんちゃうんかい、と腹に据えかねてくるわけでございます。いよいよ次の天皇に譲らんかという時に、後醍醐天皇の周辺に集まった若い公卿達が、鎌倉幕府をひっくり返してしまえ、六波羅探題を明日攻撃！という晩に裏切り者が出てくる。その企みは潰される。「正中の変」でございます。

さあ、『太平記』という軍記物はよくできた話でございますね。『平家物語』なんかは「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」って琵琶で語ったりして仏教説話から始まります。『太平記』、そんなないんです。なぜかと申しますと、これはリアルタイムに書き綴られた作品だからです。つまり、私がなぜ興味を持ったかと言うと、私がやっている放送の仕事っていうのはまさにこういうことなんです。今何が起こっています。今、というものを記録していった、これが『太平記』であるというふうに読むと非常におもしろいものだと私は思うんでございます。その中に楠木正成という大スターが登場する。鎌倉幕府の御家人ではなく、地方の土豪、自分たちで武力を持って商売をしたりしている人たちですね、これは鎌倉幕府の統制下にありませんので、悪党というふうに言われた。そういう地方武士団の棟梁でございます。前半生は全くの不明です。楠木正成が登場するのは、37 歳位じゃなかったかと。後醍醐天皇、吉野への逃避行中、笠置山におわす時に、登場するのでございます。

さあ、それでは私の想像する、柏木宏之の世界、『太平記』「桜井の別れ」を中心にお話いたします。事の起こりから、朗読をさせていただきます。お聞きくださいませ。

正季「兄貴、えらいこっちゃ。天皇さんが、鎌倉を潰せ、ちゅうて命令を出しはっらしいで。ほんで、怒った鎌倉から、なんやごついぎょうさん軍団がやって来て、天皇さんが都を逃げはったそうやなあ。」

正成「そうらしいな。いや、まあ、わしらとしては河内の村でな、今まで通り平和に暮らしたら、一番ええのんや。それにわしも、鎌倉幕府とかいうのんはどやねんと思うてな。まあ、いっぺん天皇さんが考えてはるような平和な世の中がやって来るんやったら、それに賭けてみようかな、とは思うとる。実はな、今、天皇さんがそこの笠置山に来たはんのや。わしらに力を貸してくれって来たはんのや。」

この後、目のさめるような、千早・赤坂城での戦いがあり、そして、名和長年という人が、隠岐島に流されていた後醍醐天皇を連れて都へ帰ります。「建武の新政」がいよいよ始まります。

ところが、それまで天下を取っていた武士達の所領を全部、朝廷が巻き上げて、お寺・神社・公家とかが所領を持つわけですね。足利尊氏は、この戦に勝って鎌倉幕府を倒したら、足利幕府を作るつもりで、恩賞としてお前にはここの土地をやる、という空手形をいっぱい打っております。ところがそうはいかなかった。そこで武士の面目丸つぶれ。足利尊氏、怒りまして、遂に鎌倉の方に行った、そこで謀反を起こすわけでございます。さあ、いよいよ足利勢が京都へ攻めのぼってきます。しかし、正成の策略で、足利軍は食料を断たれて、都落ちして、西へ西へと逃げてまいります。

でも、源氏長者・足利尊氏というこの肩書、名前がやっぱり人気の元なんですね。九州、中国路から京都を指して、尊氏は船で瀬戸内へ、弟、直義は陸路で土豪を糾合しながら、どんどん膨れ上がる大軍団でやって来た。それが今の神戸の湊川、あのへんでございます。さあ、朝廷は大騒ぎ。その時に正成が一つ提案をする。「御上には誠に申し訳ありませんが、ようやく復興なってきた京の街でございますが、叡山にお戻り下さい。今度は前よりもっと大きな網を広げて、足利勢を包み込んでしまいます。」もうそれはね、今の我々が聞いてもびっくりするぐらい大きな戦略です。しかし、建武の新政で自分たちの所領を取り返した貴族たちは京都を離れたくないのでございます。いろんな難癖をつけます。新田勢には神戸の浜へ行って上陸する前に水際作戦でやっつけてしまえと命令をします。

さあ、いよいよでございます。正成、正行、この二人が別れにかかるわけでございます。

桜井の駅でございます。

正成「皆集まったか。ここでうちのもんを二手に分ける。正行、お前はこっちを連れて河内へ帰れ。」

正行「なんで。このまま、おトンは、尊氏と合戦するんやろ。わいも行くで。」

正成「あのな、正行、獅子は生まれて三日目に、子供を谷底に突き落とすと言うな。そして険しい崖を這い上がって来た子だけに乳をやるという。わしはお前をここで谷底へ突き落とさならん。ええか、お前はわしに代わって楠木党の棟梁にならなあかんのやで。そのためには、ええか、和田やんとか恩地、湯浅、八尾の言うことをよう聞いて、河内の里を守らなあかん。力をつけて、わしの志を継いでくれと言うとんや。お前ならできると思うから、河内へ向かえと言うとんねん。…正行、泣かんでもええぞ。」

正行「泣いてんのんちゃう。おトンの、いや大将の気持ちがよくわかったんや。」

というのが、私の中の桜井の別れでございます。でこの後、湊川やあの辺行くわけでございます。新田の大將は囲まれてしまいます。新田勢がここで全部潰れてしまうと、これは京都を守る武將がいなくなるわけでございます。楠木正成はこの時700の手勢で、足利軍を引き付けて、その間に新田軍を逃がす。この後、尊氏は、正成の首を取って、首をさらしはするんですけども、当時はね、塩漬けにするんですね、腐らないように。塩漬けにした首を河内の正行の元に送ります。これは丁重に葬って差し上げよと。父上はよく戦われたという意味なんですよ。さあこの後、正行は父の遺訓を守りまして、四条畷で大合戦をし、命を落としていくわけでございます。正行さんの四条畷神社があそこにありますんでね。湊川神社、行かはるんやったら、一度は四条畷神社に行って、この桜井で間違いなく親子の別れをした親子を偲んでみてはいかがかなと私は思うわけでございます。

今日は大変長いことお付き合いいただきまして、誠にありがとうございました。本日はこれまででございます。



## 講演会

「近世の離宮八幡としまもと一社家文書を通して」

平成 24 年 9 月 15 日 (土)

大阪府立大学名誉教授 山中 浩之 氏



私は、古文書を中心にやっております、この離宮八幡の松田家の古文書を調べさせていただくいい機会を与えていただき、新たにこの地域の歴史・文化というものに触れさせていただきました。

まず、離宮八幡あるいは島本町を含む大山崎がどうやってできたのかを知っていただく必要があらうと思います。離宮八幡の由緒では、宇佐八幡から勧請して山崎を経て石清水へ遷座されました。そして、石清水八幡が最も中心的な神社で武家とつながりをもっています。

離宮八幡あるいは大山崎というと油座が有名です。13世紀頃、鎌倉時代から石清水八幡宮を本所とし、荏胡麻油の製造・販売の特権を獲得したことが史料で確認されています。諸役・関銭・徳政の免除、そして同業者の商売の停止という大きな特権により保護されていました。それに対して灯油料その他一定の負担を納めていました。そして15世紀半ば頃、地域の結びつきが非常に強くなり離宮八幡の北側にある天神八王子社の酒解神社を核とした地域の祭礼等を担う人々が宮座を作ります。酒解神社を中心に石清水から独立しようという動きが強まったと考えられます。こういう動きは、中世の堺と同様に自治的な町の結びつきが大山崎で作られていたということになります。そして、石清水から独立し大山崎の中核的な神社として離宮八幡は本格的に形成され、名実ともに離宮八幡の油座神人となり、油の製造・販売の権利が瀬戸内海から九州に至る範囲まで拡大していきました。最も経済的な繁栄がこの時期にありました。今回紹介する古文書の中に寛正5年(1464)の日付をもつ中世文書あり、そういう特権に関わる内容を持ちます。まさに地域が自治的な共同単位として形成されていった時期です。こういう中世の油座に関わる文書が残されていたというのも今回の調査の成果の一つだと思っております。

さて、社家による離宮八幡の運営と神領の「自治的」支配についてです。16世紀半ば頃、織田信長は堺を支配下に置きますが、大山崎に対しては自治的な支配をそのまま認めました。それは、都市機能や経済機能をより有効に発揮できるという判断があったからです。豊臣秀吉の検地では、年貢が免除され社家達に運営すべてが委ねられました。史料『八幡宮御朱印状写并社領・造営略記』にみえる家康の朱印状にも検地をしたけれど地元「悉く返し遣わす」とあります。土地の収穫等は神社へのお供え、祭礼、神事、修復のために社家や神人たちによって適切に配分しなさいというわけです。そんなところは他にありません。また、中世に形成された自治的な地域共同体が維持されていたため、山城と摂州の惣中が国をまたがって一体的な結びつきを持っていました。西国街道が通っているため堺や寺内町のように堀や土塁で町を囲い込むことはしていませんが、街道の入口と出口に門を造り開閉する形をとっていました。支配の構造ですが、社家は多いときで100軒以上ありましたが、その代表が6人決められていました。これが当職と呼ばれ合議制により多数決で運営されていました。その下に社役人、下若衆、上若衆中と呼ばれる人々がいます。そして11の小さい保というほぼ一つの町にあたる区域に分かれて居住しています。寛正5年(1464)の文書の中にも中村保、船橋保という保の名称がすでにみえます。非常に古くからこの地域の惣中によって区



画されていたようです。そしてそれぞれの保ごとに貫首という保の運営責任者のような人がいます。

近世に入ると、経済的には厳しい状況に陥ります。中世の繁栄は、油を中心とした特権によって築かれたと言ってもいいものでした。ところが、荏胡麻油よりも菜種の方が透明度が高く生育しやすく、需要が増してきました。そして大坂周辺における菜種油の製造・販売によって近世の油需要は賄われていき、大山崎の油は衰退していきます。大山崎惣中の経済的基盤が弱くなったということです。ただ、大坂の油屋たちにとって離宮八幡、大山崎は油の神様というイメージがありましたので、御初穂料は定期的に納めていました。それと、社家が約 100 軒もありますと、一軒ごとの配分量はかなり少なくなります。それで神社を維持し、また修復等を行うとなると相当の支出が嵩んだに違いありません。だから、離宮八幡あるいは社家の経済は停滞せざるを得なかったと思われます。社家が幕末期には 50 軒までに減少し、社家内部に格差ができ、経済的利害対立が生じ一部社家による恣意的な支配も生じたと見られます。幕末期に切実に自覚した社家の人々が、この現状では地域の自治、あるいは離宮八幡自体が潰れて行くのではないかという危機感を持ちます。それで安政 3 年（1856）に、神領改革の定書を作成しました。この改革で強調されているのは、6 人の当職だけによる決定というものを、極力排除しようということです。この様なことを言わざるを得なかった背景には、やはり当職たちによる金銭運営に何らかの問題が生じていたということになります。公正な運営に戻そうという動きの中で、禁門の変が起こり離宮八幡に砲弾が撃ち込まれ焼失する事態となりました。この時、社家たちは朝廷へ寄付を願い出て、離宮八幡の再建に奔走しました。

そうこうしているうちに激動の世の中です。鳥羽伏見の戦い。新たな維新政府が成立し、400 年続いた大山崎惣中のあり方がどうなるかと大きな危機感が感じられた時、最後の改革が企てられました。明治元年の史料『社家改革條々』の序文の部分には、「御神領一躰、旧来之陋習ヲ去り、未曾有之御変革」をしないと社家滅亡の危機だと書いています。全 25 箇条の中で注目すべき第 1 条は、当職 6 人を社家達で選ぶのではなくて、百姓・町人達によって選挙で選ぶとまで書いています。これはかなり思い切った改革です。そして社家へ配当される 500 石余りを廃止してもいいとさえ言っています。そこまで改革をやらないと、維新政府にすべてを没収されるであろうと置いていたということです。しかし問題はその署名の部分です。40 数軒の社家の内、24 軒ほどはこの改革案を進めようとしています。他は「改革不承知」となっています。その後、大山崎惣中の自治的共同支配は一挙に解体していきます。11 保の惣中支配の自治共同体は 2 つの村に分かれて庄屋支配になり、政府による年貢負担のかかる土地として扱われます。400 年にわたる惣中による自治支配、年貢免除地としての支配は実質的には終了します。その後、社家という資格、立場も明治の神社政策の中で失われます。つまり中世以来の血脈を伝える社家は一家のみに限定され、神官、社家であることも消滅せざるを得ないということになったわけです。

この大山崎の極めて稀な自治的共同支配が中世を越えて近世においても持続していたということは、全く他の土地にはなかったあり方で非常に独自なことだと思えます。町が経済的な変化の中で地域自治を公正に順調に維持していくことの困難さも痛感させられます。だから、この地域住民による自治がどのように形成され、またどのように変容せざるを得なかったかということは、今後の地域自治を考えていく上でも貴重な歴史的な教材を提供しているということになります。これで終わらせていただきます。

## 展示

### 常設展 「ひと・もの・みち」

島本町は、大阪府と京都府の境に位置し、桂川、宇治川、木津川の三川合流の地にあります。町の中心を西国街道が通り、古来水陸の交通の要衝として栄えてきました。その街道沿いに当資料館があります。

このような背景を中心に「島本と西国街道 - ひと もの みち -」をテーマに展示をすすめてまいります。島本町の文化財を広く知って頂くために、適時展示替えを行っています。

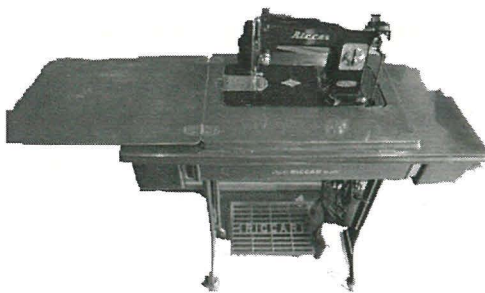
写真は、島本に残る“桜井里焼”です。江戸時代を通じて桜井村の庄屋を務めていた、清水家第十六代目清水太左衛門寛蔵が風雅を嗜み、茶の湯の道から、当時名工と誉れ高い初代高橋道八周平について陶芸を習得しやがて天明 2 年（1782）開窯、大正 6 年（1917）に廃窯となりました。

“桜井里焼”が名実ともに盛時を迎えたのは江戸時代末期（1804～43）作陶二代目太左衛門の代です。寛政 4 年 廣瀬村明細鑑記録（郷土島本研究会発行）の「摂州嶋上郡村名高附」によれば、桜井村庄屋太左衛門は他村に見られない庄屋扶持として壺石八升の記入があり、清水姓を用いています。後に史跡桜井駅跡では「楠公焼」の押印で販売され土産物として喜ばれました。「桜井焼」「桜井里」押印のものもあります。

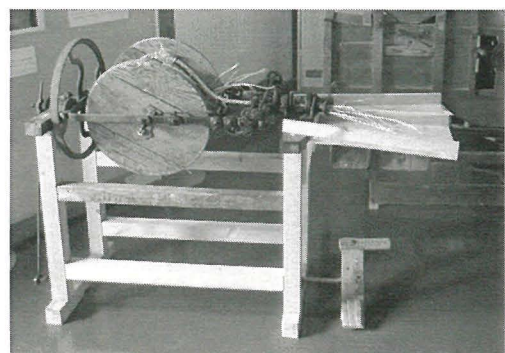


また館内では、いろいろな体験をしていただけます。

足踏みミシン、縄織え機など季節に応じて材料の準備が整っている時には受付に声をお掛けください。体験のお手伝いをいたします。どんどん、資料館を活用していただきたいと思います。



昭和の足踏みミシン



現役の縄織え機

開館時間 午前 9 時 30 分～午後 5 時  
休館日 毎週月曜日（祝日の場合は翌日休館）  
12 月 29 日～1 月 3 日  
特別展準備期間



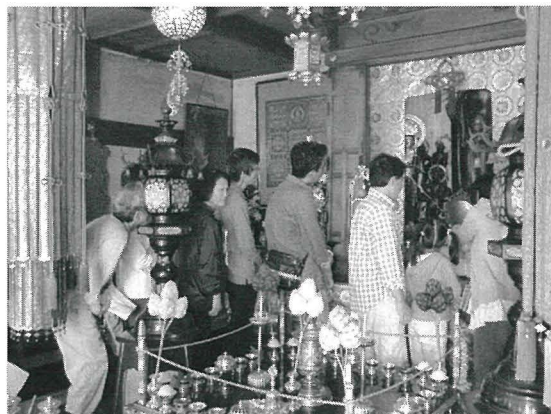
## 町指定文化財 「勝幡寺 薬師如来立像」 速報展

展示期間：平成 24 年 4 月 27 日（金）～平成 24 年 7 月 8 日（日）

町指定文化財第 4 号に山崎四丁目の勝幡寺に伝わる薬師如来立像が指定しました。

寺に残る永正 16 年（1519）の縁起によれば、養老元年（717）僧行基が開創し、自作の薬師如来像を安置したとあります。また縁起には、永正 13 年（1516）兵火にかかり全焼し、その折、本尊の薬師如来像は僧によって抱え出され、焼失を免れて今日に至っています。

実物の一般公開を平成 24 年 10 月 27 日（土）、28 日（日）に行いました。ご住職から詳細な写真を見せていただきながらの説明もあり、両日で 145 名の見学者がありました。



## 広瀬遺跡発掘調査速報展

展示期間：平成 24 年 7 月 11 日（水）～平成 24 年 8 月 26 日（日）

出土遺物を中心として調査風景写真などと共に、平成 22・23 年度に行った広瀬遺跡の発掘調査成果を、展示しました。

堂後・大街道地区の調査では、寺院の建物の一部の可能性のある石敷きや近世の井戸、大量の土器が廃棄された斜面などを検出し、国木原地区の調査では、平成 21 年度の発掘調査で検出した水無瀬離宮に関連すると思われる建物跡と同様の石敷きを検出しました。また、国木原地区の調査では、溝跡から平成 21 年度の調査で出土した瓦と同様の瓦が出土しており、この調査地点も水無瀬離宮に関連する建物が建っていた可能性が高いと思われます。



当資料館において、発掘調査の速報展を行うことは初めての試みでしたが、島本町の最新の文化財情報を発信するために、次年度以降も速報展を続けていきたいと思っております。



## 秋の企画展「近世の離宮八幡としまもとー社家文書を通してー」

展示期間：平成24年9月12日（水）～平成24年10月18日（木）

講演会日時：9月15日（土） 午後2時～

講演会名：近世の離宮八幡としまもとー社家文書を通してー

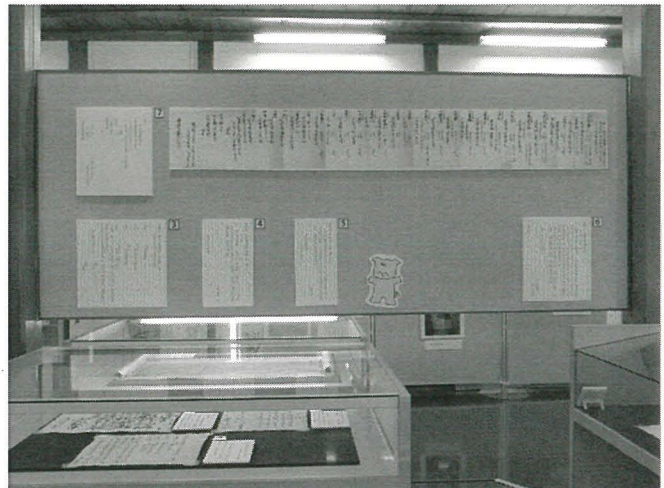
大阪府立大学名誉教授 山中 浩之

### 【展示】

文書を所蔵される松田家（町内在住）は、もと離宮八幡宮の社家としての系譜を持ち、かつて、五保・六保で構成されていた社領のうち、五保に属した溝口保（現大山崎町）に在住されていた家です。

現在保存されているのは、204点あり、近世中期から明治初年にかけてのもので、離宮の造営に関わるものや社家の改革に関わるものなどを紹介しました。

また、講演会では、離宮八幡の歴史、大山崎惣中の形成、近世離宮八幡の造営・修復・焼失などの話を中心に、社家による離宮八幡の運営と神領の「自治的」支配から終焉に至るまでの動向など、離宮八幡宮社家の近世、特に幕末維新期の動向や地域の歴史の一端を知ることができました。



## 島本の神事「山崎地区：椎尾神社」

展示期間：平成24年度12月19日（水）～平成25年1月30日（水）

島本町の各所でそれぞれの「祭」が行われます。季節も様々に日時も、時代を反映して関係者の都合で変化して来ました。

今回は、天王山トンネルの麓に位置します『山崎椎尾神社』の例祭を写真パネルでご覧頂きました。

椎尾神社は、素盞鳴命、聖武天皇、後鳥羽上皇を祭神にお祀りしています。

神事は、宮司によるお祓いに始まり、祝詞奏上、総代の玉串奏奠が境内の拝殿前で執り行われます。



## 秋の展示

### 「水無瀬駒 関連資料」

展示期間：平成24年度10月31日（水）～平成24年12月9日（日）

#### 【展示】

水無瀬神宮に約400年伝わる「水無瀬駒」。

その関連資料のうち、当時の将棋のルールブックともいえる「象戯圖（しょうぎず）」に焦点をあて、水無瀬駒に関係した展示を行いました。現在普及している将棋は40枚の駒で指しますが、中将棋は92枚、他の将棋では、132枚、多くは354枚など見慣れない駒が列記されているのも新しい発見です。

期間中に資料の実物展示を行い、水無瀬兼成が書く美しい文字にも魅了されました。



実物展示 『象戯圖（しょうぎず） 二巻』 日程：11月17日（土）・18日（日）



#### 《象戯圖》

「水無瀬駒 関連資料」の中には「象戯圖」が二巻伝えられています。

内容は、小象戯、中象戯、大象戯、大々象戯、摩訶大々象戯、大(泰)将某の初期配置、表裏の文字、駒の進め方などが図示されており、将棋の指し方を知る最古の資料です。

#### 【中将棋教室】

日程：11月27日（土）・12月1日（土）

町指定文化財「水無瀬駒」に中将棋があります。一般的にはなじみの少ない中将棋ですが、中将棋の普及のため、島本町「水無瀬駒」による地域活性化事業実行委員会が主催し、島本町教育委員会協力のもと、中将棋教室が開催されました。多くの大人たちに混じって小学生も参加し、大人顔負けの腕を披露して楽しい時間を過ごしました。

本町では、資料館の展示を通して、町の大切な文化財「水無瀬駒 関連資料」の普及・啓発に努めています。





## 新春企画展

### 「しまもとの郷土かるた」原画展

展示期間：平成 25 年 1 月 4 日（金）～平成 25 年 1 月 30 日（水）



資料館毎年恒例「しまもとの郷土かるた」原画展も、平成 24 年度で 5 回目となりました。企画展では、「く」「や」「ま」の計 3 枚の絵札を展示しました。

島本町には、幕末の戊辰戦争の際に楠葉砲台からの砲弾が民家に落ち、民家の柱を傷つけたという砲弾とその柱や、町指定文化財「宝城庵 薬師如来立像」、「平家物語」に登場する待宵小侍従の墓といわれる石塔とその顕彰碑が残され、その伝承とともに古くから語り継がれてきました。島本町に残る伝承や史跡などをもとに、切絵で描かれた絵札の原画を紹介しました。

#### 【過去の企画展】

年 度	絵 札	枚 数
平成 20 年度	「い」、「ろ」、「は」、「に」、「ほ」、「へ」、「と」	計 7 枚
平成 21 年度	「ち」、「り」、「ぬ」、「る」、「お」、「わ」、「か」	計 7 枚
平成 22 年度	「よ」、「た」、「れ」、「そ」、「つ」、「ね」	計 6 枚
平成 23 年度	「な」、「ら」、「む」、「う」、「の」	計 5 枚

## 民具・農具展

### 「むかしのくらしと農家のしごと」

展示期間：平成 25 年 2 月 1 日（金）～平成 25 年 3 月 3 日（日）

毎年この季節に、昔使われていた民具や農具を展示し、むかしの暮らしと昔の農業について紹介しています。

むかしの農業と農具は、春は田起しに使う道具など、その季節ごとに使う道具をその作業とともに解説しました。また「足踏み式ミシン」や「縄ない機」など民具に触れ実際に体験していただくコーナーを設置しました。

昔の人たちのくらしと智恵や伝統に触れ、昔の人たちの偉大さを感じていただけた展示になったのではないのでしょうか。





## 体験学習

「土器洗いを試みよう!!」

日程：平成24年7月21日(土)、28日(土)、8月11日(土)

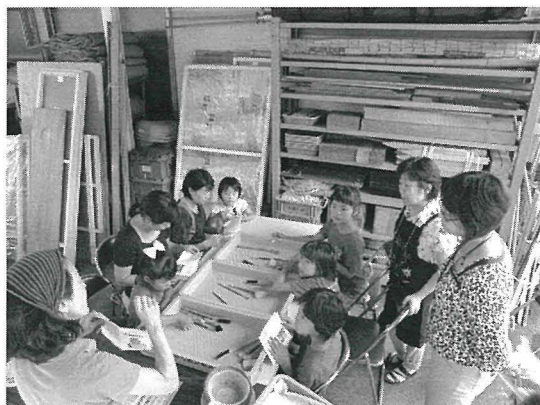
島本町内の調査地より出てきた遺物の土や汚れを取り除く作業を、参加者のみなさんに体験していただきました。今回は、須恵器や陶磁器類などの出土遺物を洗う体験をしていただきました。

焼成がよく、比較的強く洗っても表面を傷めることの少ない遺物です。

縄文土器、弥生土器、土師器など素焼きのものは、強く洗うと表面の文様や調整痕などを傷めることがあるので、注意が必要となります。

参加した小学生の感想は「昔の土器にさわれた」「昔の島本の歴史を知ることができた」「あらうのが楽しかった」などの声が聞かれました。

次回の企画につなげるエネルギーをいただき、職員の新たな原動力とさせていただきます。



## 資料館ボランティアの活動報告

平成20年の開館に併せて、歴史、文化に興味があり資料館の展示解説などを中心に活動をしていただけるボランティアの方を募集いたしました。

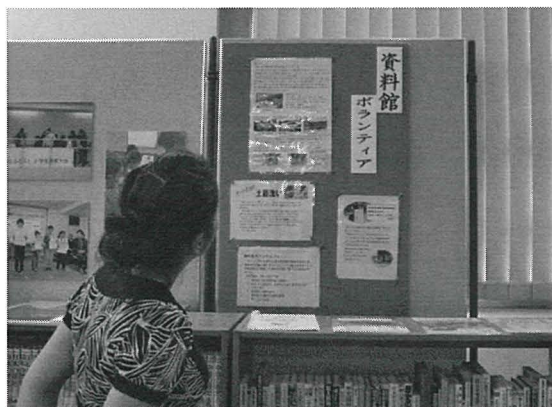
ボランティア活動に必要な講習を受講いただき、現在5名の方が活動中です。

概ね月1回のボランティア館内会議で、島本町内及び資料館での行事を先行してお知らせし、事前学習、体験をしていただいております。

貴重な体験として、先の東日本大震災津波被災においては宮城県南三陸・西光寺所蔵の古文書類1500冊の保存処理が奈良大学文学部文化財学研究室を中心に行われ、担当教授の西山先生のご厚意で「被災文書の保存」に係わらせていただく機会がありました。

いろいろな経験とボランティアさんたちの研鑽の中で、日々活躍いただいております。

活動の一端を写真でご覧ください。



## 事業報告

### 企画展・催物一覧

日時・期間	企画展
4月27日(金)～ 7月 8日(日)	町指定文化財「勝幡寺 薬師如来立像」速報展
5月11日(金)	写真展「桜井駅跡の思い出スナップ」
7月11日(水)～ 8月26日(日)	広瀬遺跡発掘調査速報展
9月12日(水)～10月18日(木)	秋の企画展「近世の離宮八幡としまもと一社家文書を通して」
10月31日(水)～12月 9日(日)	秋の展示「水無瀬駒 関連資料」
11月17日(土)・18日(日)	実物展示「象戯圖」
12月19日(水)～ 1月30日(水)	島本の神事「山崎地区: 椎尾神社」
1月 4日(金)～ 1月30日(水)	新春企画展「しまもとの郷土かるた」原画展
2月 1日(金)～ 3月 3日(日)	民具・農具展「むかしのくらしと農家のしごと」

日時・期間	催物
4月15日(日)	第26回コンサート「船橋 茉莉子ピアノリサイタル」
5月12日(土)	講演会 「柏木宏之の世界ー桜井駅跡『正成・正行親子の別れ』朗読会」 毎日放送アナウンサー 柏木 宏之 氏
5月26日(土)	第27回コンサート 「Ensemble Bella Notte ～ヴァイオリン、チェロ、ピアノの三重奏」
7月21日(土)	体験学習「土器洗いをしてみよう!!」①
7月28日(土)	体験学習「土器洗いをしてみよう!!」②
8月11日(土)	体験学習「土器洗いをしてみよう!!」③
9月 9日(日)	第28回コンサート「村瀬 響ヴァイオリンコンサート」
9月15日(土)	講演会「近世の離宮八幡としまもと一社家文書を通して」 大阪府立大学名誉教授 山中 浩之 氏
10月20日(土)	第29回コンサート「上田 晶子ヴァイオリンリサイタル」
11月18日(日)	第30回コンサート「津田 由紀子ソプラノコンサート」
12月 2日(日)	第31回コンサート「吉久 夏子ピアノリサイタル」
3月31日(日)	第32回コンサート「鎌田 純子ピアノリサイタル」

### 公募による催物一覧

日時・期間	内容
4月14日(土)	オカリナ”ぷぷ”「オカリナ春のミニコンサート」
5月13日(日)	大人のピアノサークル カンタービレ 「ピアノサークル カンタービレ 発表会」
7月 4日(水)～ 7月 8日(日)	島本竹工房「七夕飾り」設置
7月31日(火)	直心吟詩会「第二回直心吟詩会 直心青葉吟詩会 発表会」
8月25日(土)	島本竹工房「第十二回かぐや姫の夕べ」
10月16日(火)	島本町婦人協会童謡クラブ「一緒に歌いませんか？」
11月17日(土)・12月 1日(土)	島本町「水無瀬駒」による地域活性化事業実行委員会 「中将棋教室」
3月30日(土)	ふるさと島本案内ボランティアの会(ペーパークラフトチーム) 「麗天館の模型(ペーパークラフト)の展示・製作実演」



入館団体

日誌抄録

平成24年度(2012)		
4月25日	島本町新規採用職員研修(島本町)	1団体
5月13日	大阪文学振興会(大阪市)	4団体
5月19日	晴友吟詠会(大阪市)	
5月27日	奈良大学(大阪等)	
5月29日	ふるさとボランティア研修(島本町)	
6月1日	島本町新任教員初任者研修(島本町)	
6月5日	史遊会(茨木市)	5団体
6月7日	りんどう学園ことば学科(川西市)	
6月10日	ユニハイム山崎自治会(島本町)	
6月26日	歴史ウォーク(神戸市)	
7月5日	よみうり文化センター歴史ウォーク(近畿)	
7月7日	よみうり文化センター歴史ウォーク(近畿)	
7月11日	NPO法人アクティブエイジング(八尾市)	
7月13日	柏歩会ウォーキング(豊中市)	
7月14日	流通科学大学オープンカレッジ(宝塚市)	8団体
7月16日	大阪府高齢者大学中世科(大阪市)	
7月18日	歴史同好会(大阪市)	
7月18日	四条驛健康ロード(四条畷市)	
8月30日	瑞穂詩吟の会(京丹波町)	2団体
8月31日	『明月記』研究会(東京)	
9月2日	どこボラ歩こう会(豊中市)	4団体
9月4日	朝日カルチャーセンター京都雑学散歩講座(京都)	
9月12日	朝日カルチャーセンター京都雑学散歩講座(京都)	
9月27日	朝日カルチャーセンター京都雑学散歩講座(京都)	
10月13日	関西学院大学法学部「島本町の未来を考え歩く会」 (島本町)	2団体
10月26日	大阪府年金者連盟(大阪府)	
11月2日	阪急京都線沿線観光あるき(大阪市)	11団体
11月3日	武田薬品PV部(大阪府)	
11月7日	藤井寺ウォーク(藤井寺市)	
11月15日	大山崎歩こう会「長寿苑」(大山崎町)	
11月15日	吹田千一老人クラブ(吹田市)	
11月16日	哲鑑会「詩吟の会」(豊中市)	
11月17日	百人一首の会(京都市)	
11月22日	コープこうべカルチャー大阪北(大阪)	
11月22日	島本町消費者懇談会(島本町)	
11月23日	京都市ソフトボールクラブ(京都市)	
11月27日	富田林高校同窓会(富田林市)	
12月5日	万代万寿クラブ(大阪市)	3団体
12月7日	阪急京都線沿線観光あるき(大阪市)	
12月19日	歴史愛好家の会(大阪府)	
1月20日	びわこテクテククラブ(滋賀県)	2団体
1月27日	ハイキング同好会(堺市)	
2月6日	町立第二小学校 3年生(島本町)	7団体
2月7日	町立第三小学校 3年生(島本町)	
2月8日	町立第四小学校 3年生(島本町)	
2月9日	パナソニックエコシステムズ松寿会(大阪府)	
2月14日	町立第一小学校 3年生(島本町)	
2月26日	講演会(北摂地域)	
2月26日	大山崎町・島本町合同観光セミナー (大山崎町・島本町)	
3月1日	阪急京都線観光あるき(大阪市)	5団体
3月2日	園塾会(京都市)	
3月15日	ストレッチ3K会(高槻市)	
3月26日	自敬寺護持会(大阪市)	
3月26日	タケダ歴史街道メンバー(大阪府下)	

年間 54 団体入館

平成24年度(2012)	
4月12日	資料館ボランティア定例会
4月14日	公募による催物「オカリナ春のミニコンサート」(オカリナ”ぶぶ”)
4月15日	第26回コンサート「船橋 茉莉子 ピアノリサイタル」
4月27日	町指定文化財(第4号) 「勝幡寺 薬師如来立像」写真パネル展示(～7/8)
5月10日	消防設備点検 資料館ボランティア定例会
5月11日	写真展「桜井駅跡の思い出スナップ」
5月12日	講演会 「柏木宏之の世界—桜井駅跡『正成・正行親子の別れ』朗読会」 毎日放送アナウンサー 柏木 宏之氏
5月13日	公募による催物「ピアノサークル カンタービレ 発表会」
5月26日	第27回コンサート 「Ensemble Bella Notte」～ヴァイオリン・チェロ・ピアノ～
6月7日	資料館ボランティア定例会
6月14日	消防訓練
6月28日	資料館ボランティア定例会
7月4日	公募による催物 七夕飾り設置(～7/8)
7月11日	「広瀬遺跡速報展」(～8/26)
7月12日	資料館ボランティア定例会(土器接合)
7月19日	資料館ボランティア定例会(土器接合)
7月21日	体験学習「土器洗いをしてみよう!!」①
7月28日	体験学習「土器洗いをしてみよう!!」②
7月31日	公募による催物「第二回直心吟詩会 直心青葉吟詩会発表会」
8月11日	体験学習「土器洗いをしてみよう!!」③
8月25日	公募による催物「かぐや姫の夕べ」
9月6日	資料館ボランティア定例会
9月9日	第28回コンサート「村瀬 響ヴァイオリンコンサート」
9月12日	秋の企画展開催(～10/18) 「近世の離宮八幡としまもと—社家文書を通して—」 京都新聞取材
9月15日	講演会「近世の離宮八幡としまもと—社家文書を通して—」 大阪府立大学名誉教授 山中 浩之氏
10月4日	資料館ボランティア定例会
10月16日	公募による催物「島本町婦人協会童謡クラブ」
10月20日	第29回コンサート「上田 晶子ヴァイオリンリサイタル」
10月31日	展示(～12/9)「水無瀬駒 関連資料」
11月17日	『象戯圖』実物展示(～11/18)
11月17日	公募による催物 中将棋教室(1回目)
11月18日	第30回コンサート「津田 由紀子ソプラノコンサート」
11月29日	資料館ボランティア定例会
12月1日	公募による催物 中将棋教室(2回目)
12月2日	第31回コンサート「吉久 夏子ピアノリサイタル」
12月7日	消防設備点検
12月19日	企画展開催(～1/30)島本の神事「山崎地区:椎尾神社」
1月4日	企画展開催(～1/30)「しまもとの郷土かるた」原画展
1月8日	資料館ボランティア定例会
2月1日	企画展開催(～3/3)「むかしのくらしと農家のしごと」
2月21日	資料館ボランティア定例会
2月21日	たかつきケーブルテレビ撮影
3月8日	消防点検
3月21日	資料館ボランティア定例会
3月30日	公募による催物「麗天館の模型(ペーパークラフト)の 展示・製作実演」
3月31日	第32回コンサート「鎌田 純子ピアノリサイタル」

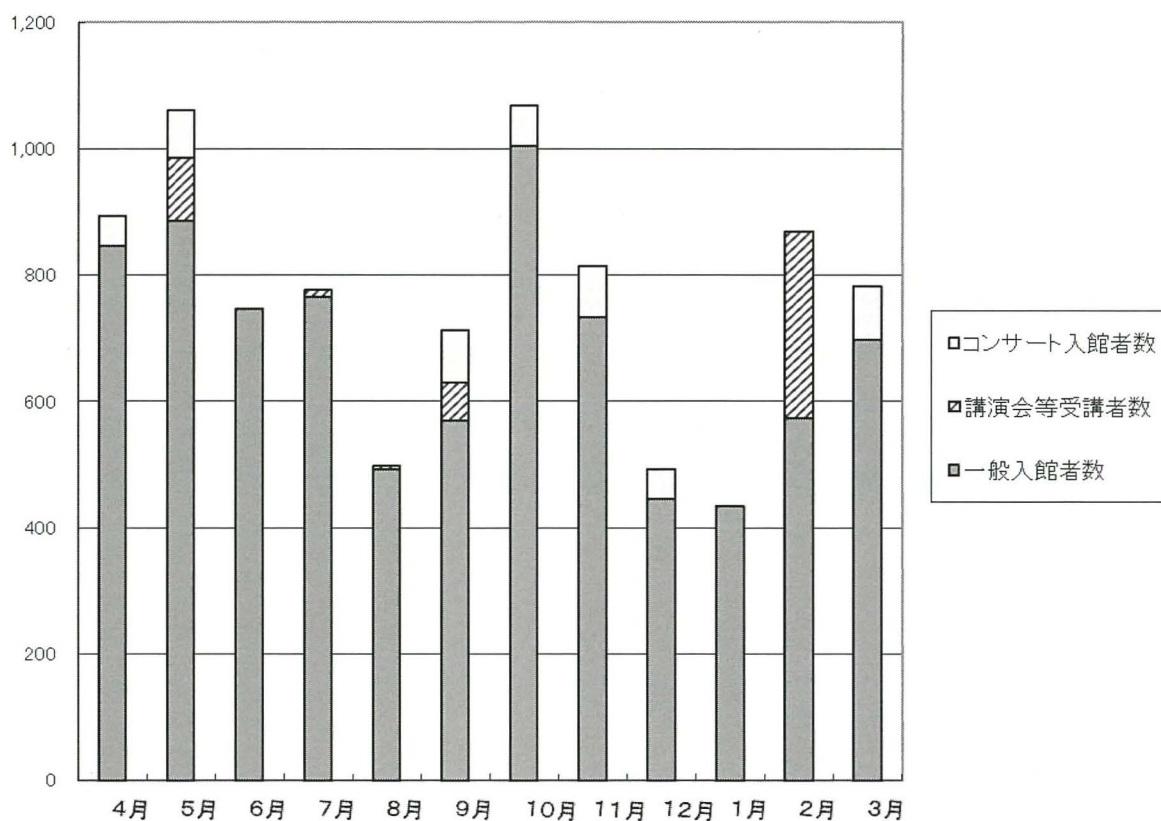


## 利用状況

### 平成 24 年度入館者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
一般入館者数	847	886	746	765	493	569	1005	733	445	434	573	698	8,194
講演会等受講者数	0	99	0	11	4	61	0	0	0	0	296		471
コンサート入館者数	47	76	0	0	0	83	63	81	47	0	0	85	482
総入館者数	894	1,061	746	776	497	713	1,068	814	492	434	869	783	9,147

入館者数(人)



## 寄託・寄贈

平成 24 年度は 10 点の寄贈をいただきました。ありがとうございました。

内容	点数	内容	点数
電気アイロン	1 点	五玉そろばん	1 点
油入れ	1 点	レジスター	1 点
電気炊飯器	1 点	電話機	1 点
祝御椀	2 点	外壁取付 両面時計	1 点
土臼	1 点		

合計	10 点
----	------

受入れ図書

発行	刊行物名	発行	刊行物名
朝倉市教育委員会	朝倉市文化財年報(平成22年度) 朝倉市文化財調査報告書第16集 桑原屋敷遺跡 一般県道塔ノ瀬十文字小郡線改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 黒川院Ⅱ 福岡県朝倉市黒川所在中世黒川院関連遺跡群の調査 旧三奈木黒田家庭園【三奈木黒田家御茶屋跡】	大阪府教育委員会 文化財保護課	平成23年度 地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 文楽人形 鬘師・床山 <DVD>平成23年度 地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 文楽人形 鬘師・床山 <DVD>平成23年度 地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 大阪府指定無形文化財 木工芸
池田市教育委員会	池田市埋蔵文化財発掘調査概報 2011年度	公益財団法人 大阪府文化財センター	要覧 一平成24年度一 世界遺産をめざす古市古墳群とその周辺 平成23年度文化庁文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 天下の台所 大坂 一魚食文化の歴史を探る- 平成23年度文化庁文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業 激動の時代「慶長」を語る 平成24年度文化庁文化芸術振興費補助金(文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業)
池田市	新修 池田市史 別巻(年表・索引編)		
池田市立歴史民俗資料館	平成24年度特別展 廣瀬旭荘と池田・大坂	大山崎町教育委員会	大山崎町埋蔵文化財調査報告書 第40集 松田遺跡 大山崎町埋蔵文化財調査報告書 第41集 松田遺跡 大山崎町埋蔵文化財調査報告書 第42集 平成22年度国庫補助事業調査報告 大山崎町埋蔵文化財調査報告書 第43集 平成23年度国庫補助事業調査報告 大山崎町文化情報2009 大山崎町文化情報2010
生駒市教育委員会	生駒市文化財調査報告書第33集 生駒市内遺跡発掘調査概要報告書 2011年度		
和泉市史編さん委員会	和泉市史紀要第19集 和泉郡の条里	大山崎町歴史資料館	町制45周年記念第20回企画展 淀川と水辺の風景
和泉市教育委員会	和泉市埋蔵文化財発掘調査概報22 和泉国府跡 11-053地点の発掘調査 発掘ニュースレターVol6 府中遺跡(和泉国府跡)の発掘調査6 和泉府中駅東側再開発に伴う発掘調査		
和泉市教育委員会／信太の森の鏡池史跡公園	鏡池史跡指定15周年 史跡公園開園10周年記念 信太の森の鏡池「葛の葉」ゆかりの地一	貝塚市教育委員会	貝塚市埋蔵文化財調査報告 第79集 貝塚市遺跡群発掘調査概要33 貝塚市埋蔵文化財調査報告 第80集 貝塚市遺跡群発掘調査概要34
泉大津市教育委員会	展示デザインの視点 ～池上曾根遺跡を”テンジ”する～ 泉大津市埋蔵文化財発掘調査概報31		
泉大津市立織編館	収蔵展 近代の絵はがき	柏原市立歴史資料館	鳥坂寺再興 平成24年度夏季企画展 柏原市立歴史資料館だより ゴンドラ No.9 中家文書目録 柏原市立歴史資料館 館報第24号 -2011年度-
泉佐野市教育委員会	泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 平成23年度 泉佐野市埋蔵文化財発掘調査概要 第67号-第68号		
泉佐野市教育委員会・熊取町教育委員会	土丸・雨山城跡一日根遺跡関連調査報告書一	交野市教育委員会／財団法人交野市文化財事業団	交野市の文化財Ⅱ 交野市の瓦
茨木市教育委員会	大阪府茨木市 平成23年度発掘調査概報一 個人住宅建築に伴う発掘調査報告一		
茨木市	新修 茨木市史 第1巻 通史Ⅰ 新修 茨木市史 第6巻 史料編 近現代 新修 茨木市史 年報 第9号	財団法人 交野市文化財事業団	交野市文化財だより 第22号 交野市 歴史散策マップ 傍示・寺・森・私市地区
株式会社 イビソク	平安京右京五条四坊十五町跡、西京極遺跡 一集合住宅建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一		
扇谷昭編	四糸畷の史跡事典	交野市教育委員会	平成23年度 交野市埋蔵文化財発掘調査概要
大阪府立狭山池博物館	平成24年度特別展 中世狭山池の水下世界	かつらぎ町教育委員会	東洪田遺跡発掘調査報告書 平成22年度 かつらぎ町埋蔵文化財調査年報
大阪府立近つ飛鳥博物館	平成24年度春季特別展 王と首長の神まつりー古墳時代の祭祀と信仰ー	河内長野市教育委員会	河内長野市埋蔵文化財調査報告書30 烏帽子形城跡 烏帽子形城跡 ー600～400年前(戦国時代)の河内長野ー
	大阪府立近つ飛鳥博物館 館報15	関西大学博物館	関西大学博物館彙報 肝臓 No.64, No.65
	博物館だより アスカディア・古墳の森 vol.36-vol.37	岸和田市教育委員会	平成23年度 発掘調査概要
	平成23年度秋季特別展 百舌鳥・古市の陵墓古墳	岸和田市・岸和田市教育委員会・朝日新聞社	岸和田市文化賞 第24回濱田青陵賞授賞式
大阪府立近つ飛鳥博物館	平成24年度春季特別展 王と首長の神まつりー古墳時代の祭祀と信仰ー	岸和田市教育委員会	熊沢友雄日記(3) 明治十一(1878)年～明治十四年 熊沢友雄日記(4) 明治十五(1882)年～明治十八年 岸和田城常設展示図録 岸和田城と岡部家
平成24年度秋季特別展 南九州とヤマト政権 ー日向・大隅の古墳ー			
大阪府立近つ飛鳥博物館	平成24年度冬季特別展 歴史発掘おおさか2012 ー大阪府発掘調査最新情報ー	京都市文化市民局	京都市内遺跡発掘調査報告 平成23年度 京都市内遺跡試掘調査報告 平成23年度 京都市内遺跡詳細分布調査報告 平成23年度 史跡岩倉具視幽棲旧宅 史跡等・登録記念物・歴史の道保存整備事業報告書
大阪府立弥生文化博物館	弥生文化博物館要覧 平成22年度 平成24年度夏季特別展 稲穂落しと神の足跡 ー農具でひもとく弥生社会ー	京都橋大学文学部	京都橋大学 文化財調査報告 2011 田口山弥生時代遺跡・権原丸山古墳・山科本願寺跡土壘・鹿谷古墳群
大阪大学文学研究科考古学研究室(篠塚調査団)	篠塚跡群大谷3号窯の研究	公益財団法人 京都府埋蔵文化財調査研究センター	京都府埋蔵文化財情報 第117号-第119号
大阪府教育委員会	大阪府教育委員会文化財調査事務所年報 16	京都府立大学 文学部歴史学科	京都府立文化遺産叢書 第4集 八幡地域の古文書と石造物・景観 京都府立文化遺産叢書 第5集 丹後・宮津の街道と信仰
大阪府教育委員会	安松田遺跡Ⅲ ー府営泉佐野東羽倉崎住宅建て替え工事に伴う発掘調査ー	近世の古文書を読む会	御橋書写帳 第5冊 大阪府藤井寺市岡 岡田家文書
	福鹿北遺跡Ⅱ ーなわて水みらいセンター建設に伴う発掘調査ー		
	大町遺跡Ⅲ ー府営岸和田大町住宅建て替え工事に伴う発掘調査ー	国立科学博物館	先生のための植物園活用ガイド 植物園で行う”体験”学習 筑波実験植物園学習支援活動紹介
	和泉寺跡・府中遺跡 ー都市計画道路大阪岸和田南海線整備に伴う発掘調査ー		
	平尾遺跡 ー府立美原高等学校下水道放流切替工事に伴う調査ー	堺市教育委員会	堺市埋蔵文化財調査概要報告 第137冊 四ツ池遺跡(YOB128)発掘調査概要報告一堺市西区鳳北町所在一 堺市埋蔵文化財調査概要報告 第138冊 平成22年度市内遺跡立会調査概要報告 平成22年度下水管布設工事に伴う立会調査概要報告 陶色窯跡群(大野池地区)・野々井遺跡・粟木上遺跡・陶色窯跡群(榎地区)・檜尾中山北遺跡・陶色窯跡群(光明池地区)・野々井西遺跡 平成22年度水道管布設工事に伴う立会調査概要報告 陶色窯跡群(陶器山地区)
	金岡遺跡		
丹生谷遺跡Ⅱ			
狭山藩陣屋跡 ー一般府道河内長野美原線の交通安全事業に伴う発掘調査ー			
ミヤケ北遺跡 ー主要地方柏原駒ヶ谷千早赤阪線交差点改良工事に伴う発掘調査ー	大阪府教育委員会・河内長野市教育委員会	堺市埋蔵文化財調査概要報告 第139冊 太井遺跡(TAI-5)発掘調査概要報告一美原区黒山所在一 真福寺遺跡(SPJ-2)発掘調査概要報告一美原区黒山所在一	
府中遺跡・豊中遺跡・板原遺跡 ー都市計画道路和泉中央線整備事業に伴う調査ー			
大阪府教育委員会・河内長野市教育委員会	奥田井遺跡Ⅱ・太井遺跡Ⅰ発掘調査概要 高木遺跡発掘調査概要		



発行	刊行物名	発行	刊行物名		
堺市教育委員会	堺市埋蔵文化財調査概要報告 第140冊 金岡遺跡(KNO-3) 発掘調査概要報告—北区金岡町所在—	公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター	センター設立30周年記念誌 埋もれていた歴史 2012		
	堺市埋蔵文化財調査概要報告 第141冊 堺環濠都市遺跡発掘調査概要報告—SKT1054地点・戎之町西1丁	奈良文化財研究所	鎌倉時代の庭園—京と東国— 平成23年度 庭園の歴史に関する研究会 報告書		
	平成23年度 国庫補助事業発掘調査報告書 大鳥神社遺跡 堺環濠都市遺跡-SKT1057- 長曾根遺跡 南花田遺跡 堺環濠都市遺跡-SKT1059- 八田西町遺跡 陶色窯跡群 堺環濠都市遺跡-SKT1062- 土師盆田遺跡 長曾根遺跡 北三国ヶ丘町遺跡 堺環濠都市遺跡-SKT1068- 堺環濠都市遺跡-SKT1064- 銅亀山古墳・大仙遺跡 史跡 四ツ池遺跡	奈良文化財研究所埋蔵文化財センター	埋蔵文化財ニュース 146-149		
		能勢町教育委員会	平成23年度能勢町埋蔵文化財調査概要 能勢町文化財調査報告書 第30冊		
		阪南市教育委員会	黒田南遺跡発掘調査報告書 09-1区 阪南市埋蔵文化財発掘調査概要XXIX		
堺市	第2回百舌鳥古墳群講演会記録集『徹底分析・仁徳陵古墳-巨大前方後円墳の実像に迫る-』堺市文化財講演会録 第4集	東大阪市教育委員会	一市民が選んだ一 郷土の人々 東大阪市埋蔵文化財発掘調査概報 一平成23年度一 東大阪市の指定文化財 改訂版 一わが街再発見一		
堺市教育委員会	百舌鳥古墳群の調査6	東大阪市長郷土博物館	東大阪市長郷土博物館 平成24年度特別展示 河内名所図会に描かれた道具		
堺市文化財課	史跡土塔の文字瓦	枚方市教育委員会	枚方市埋蔵文化財発掘調査概要 2011 特別史跡 百済寺跡 平成22年度確認調査概要 特別史跡 百済寺跡 平成23年度確認調査概要 枚方市埋蔵文化財発掘調査概要 2010		
堺市文化観光局 文化部文化財課	ニサンザイ古墳発掘調査 現地見学会資料		藤澤一夫先生 追悼録刊行会	藤澤一夫先生 追悼録	
滋賀県立大学 人間文化学部	人間文化 vol.32	藤井寺市教育委員会	古市古墳群 藤井寺市発掘調査概報 第2号 林遺跡(HY2009-2区) 藤井寺市発掘調査概報 第3号 北岡遺跡(KT2009-8区) 藤井寺市発掘調査概報 第4号 はざみ山遺跡(HM2007-16区) 藤井寺市発掘調査概報 第5号 葛井寺遺跡(FJ2008-5区) 藤井寺市発掘調査概報 第6号 北岡遺跡(KT2010-7区) 藤井寺市発掘調査概報 第7号 はざみ山遺跡(HM2010-9区) 石川流域遺跡群発掘調査報告書XXV 藤井寺市文化財報告第30集 石川流域遺跡群発掘調査報告書XXVI 藤井寺市文化財報告第31集 石川流域遺跡群発掘調査報告書XXVII 藤井寺市文化財報告第32集		
四条畷市教育委員会	奈良井遺跡発掘調査概要報告書 中野遺跡・奈良井遺跡・南山下遺跡・岡山南遺跡 発掘調査報告書 四条畷市文化財調査報告 第46集		文化庁・平野伝統文化遺産保存実行委員会	平野大太鼓・太鼓台修繕報告書 平野伝統文化遺産大太鼓・太鼓台修繕活用事業	
四天王寺	重要文化財四天王寺舞楽所用具 一染織品編一 平成二十三年度文化財を活かした観光振興・地域活性化事業		滋賀県米原市教育委員会	米原市文化財ニュース 佐加太 第34号-第36号	
吹田市立博物館	吹田市立博物館 館報12 平成22年度(2010年度)		松原市教育委員会	たじひのたより 松原市文化財情報誌 No.10-No.11	
	吹田市立博物館 館報13 平成23年度(2011年度)		港区教育委員会	平成23年度 港区指定文化財 平成23年10月26日指定 港区埋蔵文化財調査年報 9 一平成22年度の調査地一 港区考古学ブックレット4 港区の先史時代Ⅱ 港区の弥生時代 ジョサイア コンドル 港区人物誌3	
	すいよく博物館だより No.50			港区立港郷土資料館	資料館だより 第69号 港区立港郷土資料館へ行ってみよう! 第9号 研究紀要14 平成22年度 平成23年度特別展 愛宕山-江戸から東京へ 平成24年度特別展 江戸の大名の菩提寺
	吹田市立博物館だより 第51号-第52号				宗教法人 妙國寺
	平成24年度秋季特別展「ニュータウン半世紀展 一千里発・DREAM」			国立民族学博物館	月刊みんぱく 2013年2月号
	中ノ坪遺跡発掘調査報告書Ⅰ 一第1次・第3次発掘調査一			文部科学省	博物館 これからの博物館
吉志部瓦窯跡 一出土瓦整理報告書一	八尾市教育委員会 生涯学習部文化財課			八尾市文化財紀要17 八尾市文化財保護条例施行20周年記念 文化財講演会 記録集-歴史資産のまち やおの文化財を語る-	
中西家文書目録 一平成二十三(2011)年度調査一		八尾市の文化財Ⅶ 八尾市文化財保護条例施行20周年記念 やおの文化財 一いにしへの煌めき一			
すいた歴史散歩<増補版>		八尾市立埋蔵文化財調査センター 平成23年度秋季企画展 展示案内 やおの弥生時代Ⅰ(前期~中期)一稲作文化の広がりとくらし一			
泉南市教育委員会	泉南市遺跡群発掘調査報告書XXIX 泉南市文化財調査報告書 第52集	八尾市文化財調査報告67 顕証寺本堂調査研究報告書			
太子町立竹内街道歴史資料館	太子町立竹内街道歴史資料館 館報 第17号 平成22年度	八尾市文化財調査報告69 平成23年度国庫補助事業 八尾市内遺跡平成23年度発掘調査報告書			
大東市教育委員会	河合家文書Ⅰ	八尾市文化財調査報告68-I 平成23年度国庫補助事業 高安千塚古墳群基礎調査総括報告書[本文編]			
大東市立歴史民俗資料館	大東市立歴史民俗資料館 市民学芸員REPORT 第4号-第5号 平成24年度特別展 堂山古墳群のひみつ	八尾市文化財調査報告68-II 平成23年度国庫補助事業 高安千塚古墳群基礎調査総括報告書[資料編]			
高石市教育委員会	高石市文化財調査概要2011-1 大園遺跡他の発掘調査概要 嶋上遺跡群36	八尾市文化財調査報告68-III 平成23年度国庫補助事業 高安千塚古墳群基礎調査総括報告書[附論編]			
高槻市教育委員会	高槻市文化財年報 平成21・22年度	公益財団法人八尾市文化財調査研究会	平成23年度 (財)八尾市文化財調査研究会事業報告		
高槻市教育委員会 文化財課・高槻市立しるあ歴史館	郷土玩具 奥村寛純コレクション 一伏見人形一	「陵墓限定公開」30周年記念シンポジウム 実行委員会	「陵墓」を考える 一陵墓公開運動の30年一		
高槻市立しるあ歴史館	しるあだより 第4号				
	高槻まちかど石遺物 天下統一と高槻 しろあ歴史館 永井直清関連資料市指定記念特別展 神になった殿様-永井神社の名宝と高槻藩一 高槻市立しるあ歴史館 秋季特別展「南蛮との出会い-高山右近と大友宗麟の時代-				
田尻町教育委員会	田尻町内遺跡群発掘調査概要13				
帝塚山大学考古学研究所	帝塚山大学考古学研究所研究報告XIV				
帝塚山大学附属博物館	帝塚山大学附属博物館報VII-VIII				
公益財団法人 伝統文化活性化国民協会	伝統文化 No.44-No.46				
愛知県東海市教育委員会	愛知県東海市 平成22年度 畑間・東畑・郷中遺跡発掘調査報告				
富山市考古資料館	富山市考古資料館報 No.49 富山市考古資料館紀要 第31号				
富山市教育委員会埋蔵文化財センター	富山市教育委員会埋蔵文化財センター所報 No.13 富山市の遺跡物語				
豊中市教育委員会内 府営上津島住宅遺跡調査団/府営上津島住宅(第2期)遺跡調査団	上津島南遺跡 一難波津推定地・古代「河尻」域における集落遺跡の発掘調査一				
長岡京市教育委員会	第四回企画展今里村 引き継がれた記録 長岡京市文化財調査報告書 第01冊-第03冊				
公益財団法人長岡京市埋蔵文化財センター	センター設立30周年記念誌 埋もれていた歴史 2012				

## 町指定文化財一覧

島本町文化財保護条例が平成 20 年 7 月 1 日に施行されました。

島本町文化財保護審議会にて審議いただき下記の文化財が指定されました。

### 平成 21 年度

島本町指定文化財 第 1 号	
名 称	: 水無瀬駒 関連資料
指 定 日	: 平成 21 年 4 月 14 日
所 有 者	: 水無瀬神宮 (個人)
所 在 地	: 広瀬三丁目
種 類	: 有形文化財
種 別	: 美術工芸品 (歴史資料)
員 数	: 小将棋 (漆書・八十二才銘) 一揃 合計 39 枚 飛車が欠落 中将棋 (墨書・八十六才銘) 一揃 合計 91 枚 歩兵が欠落 中将棋 (漆書) 残欠四枚 象戯圖 一卷 附 象戯圖 一卷
時 代	: 安土桃山時代

### 平成 23 年度

島本町指定文化財 第 3 号	
名 称	: 宝城庵 薬師如来立像
指 定 日	: 平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者	: 宝城庵
所 在 地	: 桜井三丁目
種 類	: 有形文化財
種 別	: 美術工芸品 (彫刻)
員 数	: 1 軀
品質・形状	: ヒノキ材・一木造り・ 彫眼・彩色仕上げ
法 量	: 像高 96.5cm
時 代	: 平安時代後期

### 島本町指定文化財 第 1 号 追加

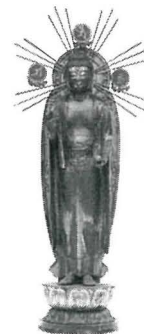
名 称	: 将基馬日記
指 定 日	: 平成 23 年 4 月 1 日
所 有 者	: 水無瀬神宮 (個人)
所 在 地	: 広瀬三丁目
種 類	: 有形文化財
種 別	: 美術工芸品 (歴史資料)
時 代	: 17 世紀初期
員 数	: 一冊

### 平成 22 年度

島本町指定文化財 第 2 号	
名 称	: 神像 (伝 聖徳太子七歳像)
指 定 日	: 平成 22 年 4 月 5 日
所 有 者	: 若山神社
所 在 地	: 大阪市立美術館 寄託
種 類	: 有形文化財
種 別	: 美術工芸品 (彫刻)
員 数	: 1 軀
品質・形状	: ヒノキ材・一木造り・ 彫眼・彩色仕上げ
法 量	: 像高 35.8cm
時 代	: 平安時代後期

### 平成 24 年度

島本町指定文化財 第 4 号	
名 称	: 勝幡寺 薬師如来立像
指 定 日	: 平成 24 年 4 月 1 日
所 有 者	: 勝幡寺
所 在 地	: 山崎四丁目
種 類	: 有形文化財
種 別	: 美術工芸品 (彫刻)
員 数	: 1 軀
品質・形状	: ヒノキ材・割矧ぎ造りか・ 彫眼・漆箔仕上げ
法 量	: 像高 150.1cm
時 代	: 鎌倉時代



勝幡寺 薬師如来立像



島本町立歴史文化資料館 館報 第5号  
平成24年度版(2012)

発行 島本町教育委員会

〒618-8570

大阪府三島郡島本町桜井二丁目1番1号

TEL 075-961-5151

発行日 平成25年9月

印刷 三星商事印刷株式会社

〒604-0093

京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300

TEL 075-256-0961







